

予防接種基礎講座 第7回講習会：2021年8月21-22日

予防接種の間違いを予防するための工夫

本日の内容

1. 予防接種間違いの状況
2. 予防接種間違い防止のための工夫

国立感染症研究所 感染症疫学センター 森野 紗衣子

1. 予防接種間違いの状況

2. 予防接種間違い防止のための工夫

予防接種間違い(誤接種、接種事故)

- ✓ 期限切れワクチンの接種
- ✓ 接種量・接種間隔、接種方法の誤り
- ✓ 接種予定外のワクチンの接種
- ✓ 集団接種時の接種漏れや2回接種 …etc.

⇒ **法令や添付文書等の規定と異なる接種**

定期接種について法令等で定められていること

【予防接種法】

対象疾病（A類、B類）など

【予防接種法施行令】

定期接種の対象者（**接種年齢**）など

【予防接種法施行規則】

接種対象除外者（発熱など）、予防接種後**副反応の報告基準** など

【予防接種実施規則】

接種方法（接種間隔、接種回数、接種経路）、**接種量** など

【定期接種実施要領】

標準的な接種年齢、接種間隔 など

予防接種間違い事例の報告について

2013年度より

定期接種実施要領に「**予防接種時の事故の報告**」が追加

重大な健康被害につながる おそれのある事故

- ・ 誤った用法用量
- ・ 有効期限切れ など

- (1) 予防接種を実施した機関
- (2) ワクチンの種類、メーカー、ロット番号
- (3) 予防接種を実施した年月日(事故発生日)
- (4) 事故に係る被接種者数
- (5) 事故の概要と原因
- (6) 市町村長の講じた事故への対応(公表の有無を含む。)
- (7) 健康被害発生の有無(健康被害が発生した場合は、その内容)
- (8) 今後の再発防止策

⇒ **速やかに報告**

(市町村→都道府県→厚労省)

重大な健康被害につながる 可能性が低い事故

- ・ 接種間隔の誤り など

毎年4月1日～翌年3月31日までに
発生した事故の様態ごとの件数

⇒ **毎年4月30日までに報告**

(市町村→都道府県→厚労省)

2013～2018年度予防接種間違い報告

	報告件数合計	うち、 血液感染の可能性 があった間違い
2013年度 ※1	4,596件	6件
2014年度 ※2	5,685件	14件
2015年度 ※3	6,168件	8件
2016年度 ※4	6,602件	11件
2017年度 ※5	7,787件	11件
2018年度 ※6	6,674件	10件

※1 第10回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会(2014年7月16日開催)資料より

※2 第7回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会(2015年10月29日開催)資料より

※3 第10回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会(2016年10月31日開催)資料より

※4 第12回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会(2017年10月6日開催)資料より

※5 第32回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会(2019年8月7日開催)資料より

※6 第41回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会(2020年11月9日開催)資料より

2018年度予防接種間違い報告

【参考：2018年度定期接種延べ接種回数 45,465,861回】

	間違いの態様	件数	全体割合	頻度 (10万回あたり)
1	接種間隔の間違い	3,759	56.32%	8.27
2	不必要な接種（ただし任意接種だとしても、医学的に妥当な説明と同意に基づくものであれば含めない）	1078	16.15%	2.37
3	ワクチンの種類の間違い（対象者誤認を除く）	177	2.65%	0.39
4	接種量の間違い	143	2.14%	0.31
5	有効期限切れワクチンの使用	112	1.68%	0.25
6	対象者誤認	75	1.12%	0.16
7	不適切な接種器具の扱い（血液感染を起こしうるものを除く）	26	0.39%	0.06
8	ワクチンの不適切な保管	15	0.22%	0.03
9	既に他の対象者に使用した針を使う等、接種器具の適切でない取り扱いのうち 血液感染を起こしうるもの	10	0.15%	0.02
10	接種部位・投与方法の間違い	7	0.10%	0.02
11	その他（対象年齢外の接種、溶解液のみの接種など）	1,272	19.06%	2.80
	合 計	6,674	100%	14.68

※ 第41回 厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会(2020年11月9日開催)資料より 一部改変

新型コロナワクチンの場合

① 重大な健康被害につながるおそれのある間違い

- ・ 誤った用法用量で接種した場合
- ・ 有効期限の切れた接種した場合
- ・ 血液感染を起こしうる場合 等

② 直ちに重大な健康被害につながる可能性が低い間違い

- ・ 接種間隔の誤り 等

⇒速やかに報告

⇒前月分をとりまとめて15日までに報告

＜新型コロナワクチンの接種開始から令和3年6月16日までに報告された間違いの概要＞

	間違いの態様	件数	頻度 (10万回あたり)
1	接種間隔の間違い	31	0.133
2	血液感染を起こしうるもの	23	0.099
3	不必要な接種	13	0.056
4	接種量の間違い	13	0.056
5	不適切な保管ワクチンの接種	9	0.039
6	不適切な接種器具の扱い	6	0.026
7	有効期限切れワクチンの使用	2	0.009
8	接種ワクチンの種類の間違い	1	0.004
9	対象者誤認	1	0.004
10	接種部位・投与方法の間違い	1	0.004
11	接種対象年齢以外の接種	0	0
12	その他	39	0.167
	合 計	139	0.596

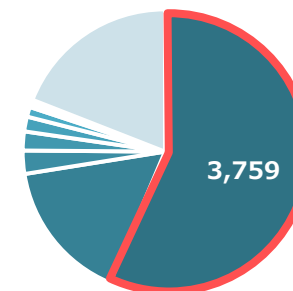
報告数の多い順に順序入れ替え

1) 接種間隔の間違い事例

- ① 同じワクチン間
- ② 異なるワクチン間
- ③ その他(ワクチン種類不明)

2011年全国市区町村を対象としたアンケート用紙による
予防接種間違い事例の調査では、

約半数は同じワクチン間
の間違い



①の例：B型肝炎ワクチン

1, 2回目を生後2, 3か月に接種後、**生後4か月**で3回目を接種した

⇒ **正しくは、1回目から139日以上**あけて接種

②の例：MRワクチン(生ワクチン)

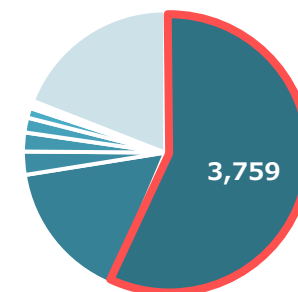
接種後**27日以上あけず**に**日本脳炎ワクチン**を接種した

⇒ ※2020年9月以前は**正しくは、27日以上あけて**接種

(※2020年10月以降も注射生ワクチン同士の接種間隔は27日以上あけて接種)

1) 接種間隔の間違い事例

① 同じワクチン間



『Hibワクチン 1期3回目と追加接種の間は 7か月以上あける』

『小児肺炎球菌ワクチン 1期3回目と追加接種の間は 60日以上あける』

『四種混合ワクチン 1期3回目と追加接種の間は 6か月以上あける』

『B型肝炎ワクチン 27日以上あけて2回、1回目から139日以上あけて3回目』

『日本脳炎ワクチン 1期初回は6日以上あけて2回 (標準的には6～28日)

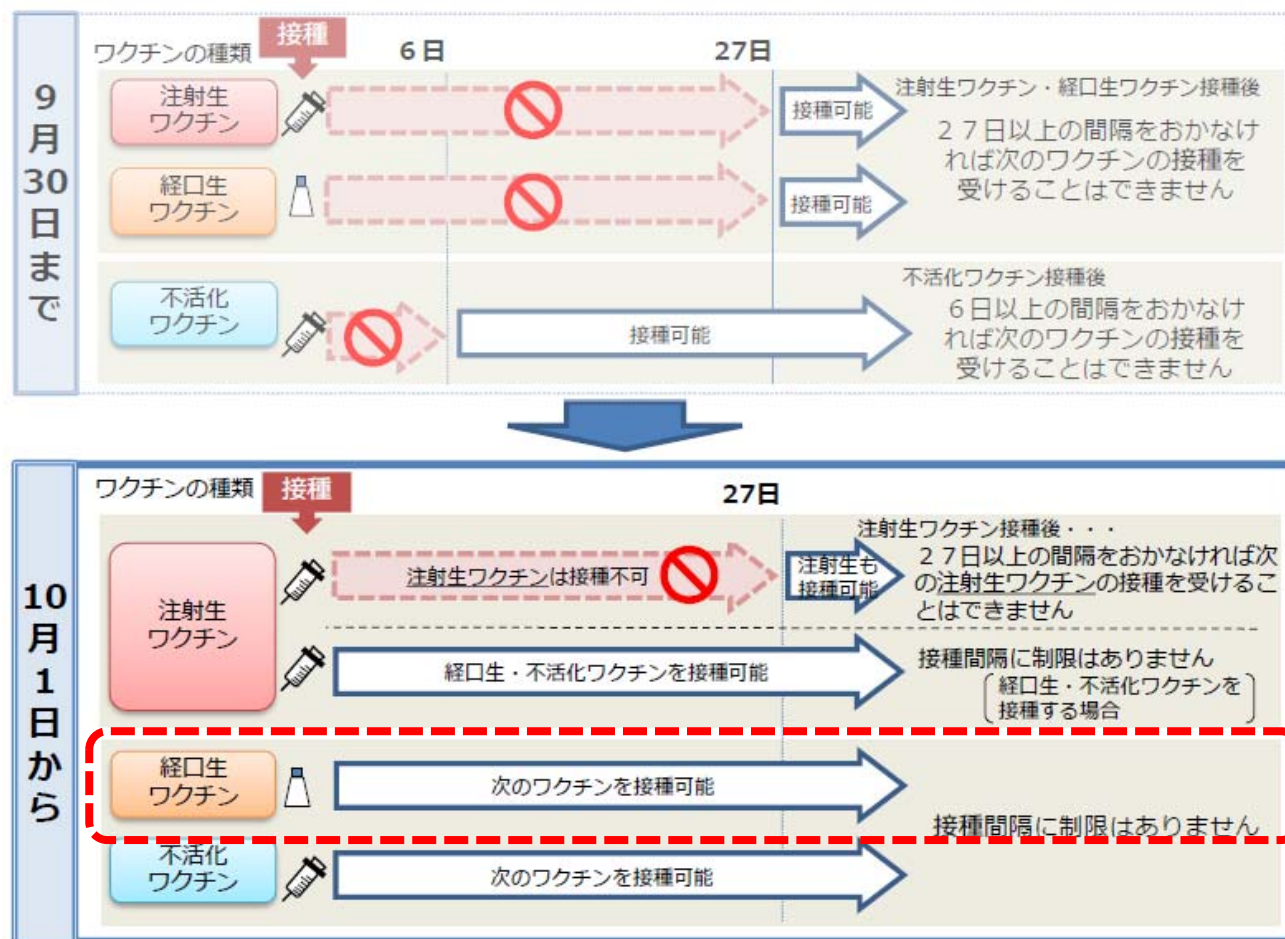
1期追加は1期初回の2回目終了後6か月以上あけて1回

(標準的には概ね1年) 』

② 異なるワクチン間

③ その他(ワクチン種類不明)

2020年10月1日～ 異なるワクチン同士の接種間隔の規定の変更



※ これまで通り、医師が必要と認めた場合、同時接種を行うことができます。

異なるワクチン同士の接種間隔の規定の変更に伴って ～ 今後の注意点 ～

同じ種類のワクチンの接種を複数回受ける場合、
ワクチンごとに決められた間隔を守る必要があります

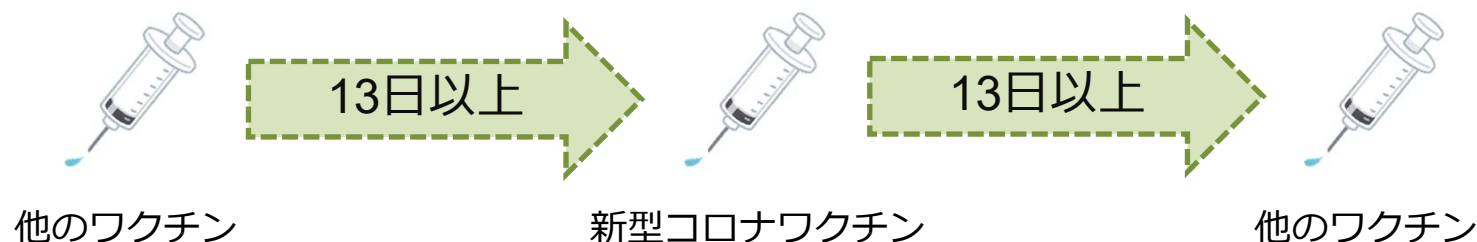
+

今後も **注射生ワクチン同士は27日以上**
の接種間隔をあけます

新型コロナワクチンと他のワクチンの接種間隔

新型コロナワクチンは、

- ・異なるワクチンとの接種間隔を原則13日以上の間隔をあける
- ・別の種類のワクチンの同時接種は行わない

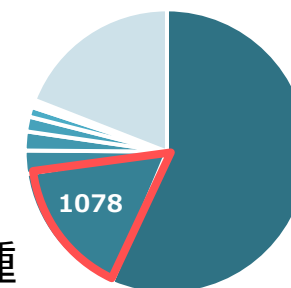


新型コロナワクチンの製販別 接種スケジュール

- | | |
|----------------|------------------|
| ✓ ファイザー社 | 3 週間の間隔で2回 |
| ✓ 武田/モデルナ社 | 4 週間の間隔で2回 |
| ✓ アストラゼネカ社ワクチン | 4~12 週間の間隔をおいて2回 |

2) 不必要な接種の間違い事例

- ① 必要接種回数間違い ⇒ 接種開始時期による回数の違い
- ② 接種歴の誤認 ⇒ 既に接種済みであったものを再接種
- ③ その他



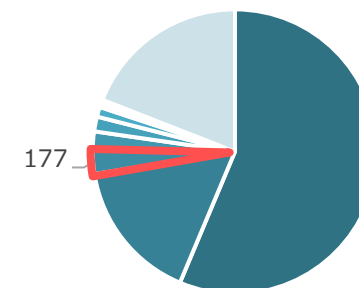
①の例：Hibワクチンの1回目を生後7か月から開始した場合、
初回2回・追加1回の合計3回接種のところ 4回目を接種した

②の例：母子手帳の**日本脳炎第2期の接種歴記入欄が別ページ**
にあることに気づかず、第2期は未接種と思って接種した
ところ、既に接種済みであった

その他：5か月前に接種済みであった**PPSV23**を再度接種した

3) ワクチンの種類の違い事例

- ① DT ⇔ MR ⇒ 両方とも **2種の混合ワクチン**
- ② Hib ⇔ PCV ⇒ **接種時期が類似**
- ③ PPSV23 ⇔ インフルエンザ
- ④ その他 ⇒ 準備, 接種対象者の違い を伴う間違い



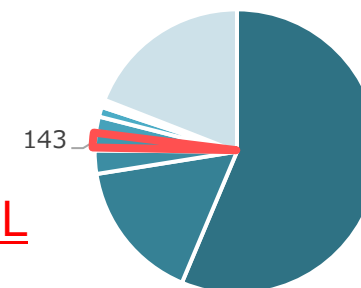
①の例：保護者から「**2混のワクチン**を接種してください」と言われ、**MRワクチン**の予定であったが、**二種混合(DT)ワクチン**を接種した

その他：MRワクチンと水痘ワクチンを接種予定の双子が診察室に入り、MRワクチン が2名分用意されたトレーと水痘ワクチン が2名分用意されたトレーがあったが、**MRワクチンを2本誤って接種した**

4) 接種量の間違い事例

<間違い例>

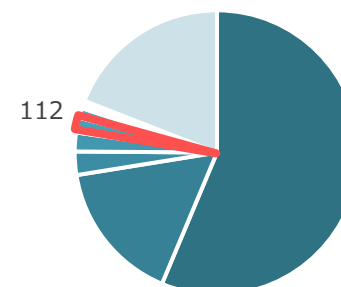
- ① 日本脳炎 1 期 『3 歳未満に0.5mL接種』 ⇒ 正しくは 0.25mL
- ② インフルエンザ 『3 歳未満に0.5mL接種』 ⇒ 正しくは 0.25mL
- ③ B型肝炎 『10歳未満に0.5mL接種』 ⇒ 正しくは 0.25mL
- ④ DT 2 期 『0.5mL接種』 ⇒ 正しくは 0.1mL
- ⑤ その他



5) 有効期限切れワクチンの使用の間違い事例

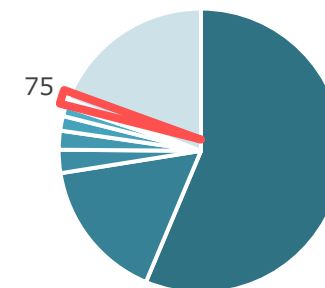
例①：昨シーズンのインフルエンザワクチンを接種した

例②：124日有効期限が過ぎたMRワクチンを接種した



6) 対象者の誤認の間違い事例

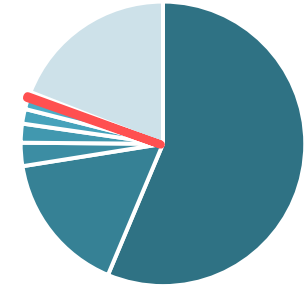
- ① 兄弟・姉妹の受診
- ② 呼び入れ時の間違い
- ③ その他



①の例：姉妹で予防接種を受けに来たが、
姉に接種予定のワクチンを妹に接種した
 さらに妹に接種したワクチンは定期接種の
対象年齢外であった

②の例：Aさんの名前をよび、入室を促したところBさんが入室、
 Bさんと気づかないまま接種してしまった

9) 血液感染を起こしうるものの間違い事例

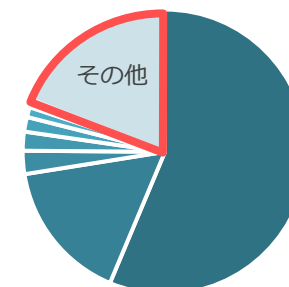


- ① 看護師の指に刺さった針で児に接種した
- ② 接種者の指に接触した管針で接種。接触部分から出血あり。
抗体検査・血液検査ともに実施。3か月後に2回目の血液検査予定。
- ③ 他者に接種済みの管針で別の児に接種した

リキャップ，感染性廃棄物Boxではなくトレイ等の容器に戻すのは
血液感染を起こしうる事例の大きな要因

⇒必ず接種者の手の届くところに感染性廃棄物Boxを設置してリキャップせずに
廃棄できる環境を準備することが重要

その他 接種対象年齢が適切でなかった間違い事例



- ① **DPT-IPV** ⇒ 生後2か月児への接種
- ② **MRワクチン** ⇒ 年中組の5歳児への接種 (就学前1年間に至っていない)
- ③ **B型肝炎** ⇒ 1歳以上で接種
- ④ その他

8) 不適切な保管をされていたワクチンの間違い事例

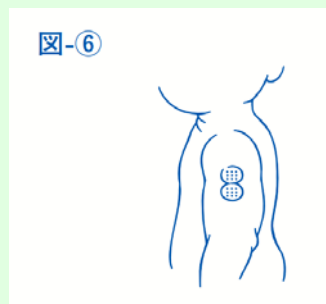
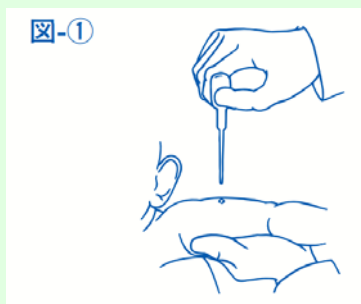
- ① 保管冷蔵庫の温度が上昇していた
- ② インフルエンザワクチンの半量0.5mLを使用後、
残りの半量を24時間以内に使用すべきところ、9日後に使用した

その他の間違い事例

- BCGワクチンの接種において、**管針円柱部**でワクチン液を塗布したため、擦過傷を生じた。

【BCGワクチン液の塗布】

滴下されたワクチンを**管針のツバの側面**で上腕の縦方向に沿って幅約1.5cm、長さ約3cm程度の範囲に塗りひろげる（以下の図とともに添付文書より抜粋）



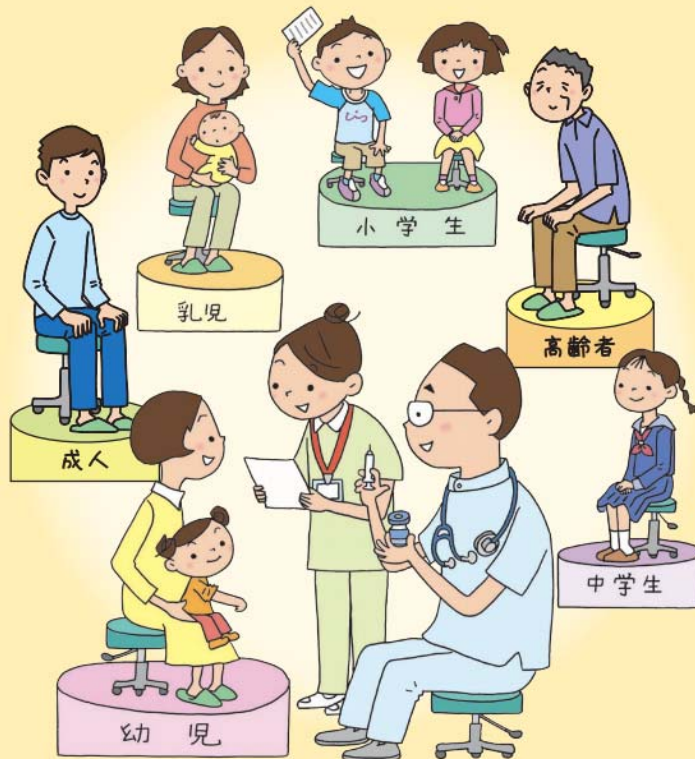
- ヒブワクチンの**溶解液のみ**接種した。
- 保護者が対象者と間違えて、兄弟を連れてきた。
- 家族でインフルエンザの予防接種を受けに来た。人数分のワクチンをトレーに準備した。使用済みの接種器具を同じトレーに置いていたが、ある一人に**接種した際に中身が空であることに気が付いた**

予防接種における

接種前の確認がとても大切です

間違いを防ぐために

(2021年3月改訂版)



厚生労働科学研究による調査結果も踏まえ、パンフレットを作成

- ・ 実際にあった間違い事例
- ・ 予防接種における確認のポイント
- ・ 予防接種の具体的な流れ(例)
- ・ 予防接種で間違いがあった場合の対応(例)
- ・ 各ワクチンの接種方法など
 - 小児における定期接種のワクチン
 - 成人における定期接種のワクチン
 - 任意接種のワクチン
- ・ 国内で使用可能なワクチン一覧

※PDFファイルのダウンロードもできます

【国立感染症研究所HP】

http://www.nih.go.jp/niid/images/vaccine/machigai-boushi-2021_03.pdf

1. 予防接種間違いの状況

2. 予防接種間違い防止のための工夫

予防接種の一連の流れ

確認事項を明確に！ 間違いの要因を排除する！



間違いの起こりやすいポイントの確認

7つの『Right』

Public Health Agency of Canada;
Immunization Competencies for Health Professionals

Right **drug**

Right **client**

Right **dose**

Right **time**

Right **route**

Right **reason**

Right **documentation**

1. ワクチンの種類・準備・保管

2. 被接種者

3. 接種量・接種回数

4. 接種年齢・接種間隔

5. 接種方法

6. 目的

7. 記録



システムの工夫
(ルール化)

物品の工夫
(見える化)

※いつ、だれが、なにを確認するか事前に決めておく

確認に用いるべきツール



母子健康手帳 あるいは **予防接種手帳**

母子健康手帳 “なし” の接種は
予防接種間違いのリスク



接種券



予診票



電子カルテ

風疹第5期定期接種・新型コロナワクチン臨時接種

母子健康手帳に関する記載

— 定期接種実施要領より抜粋 —

1 0 予診並びに予防接種不相当者及び予防接種要注意者

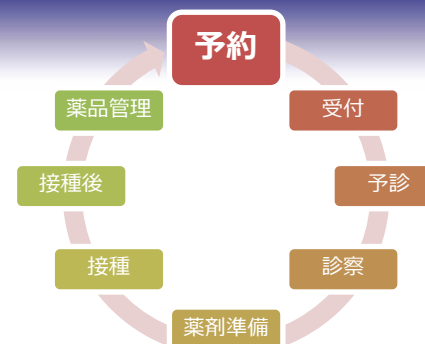
- (3) 乳幼児・小児に対して定期接種を行う場合は、保護者に対し、
接種前に**母子健康手帳の提示を求めること。**

1 6 予防接種に関する記録及び**予防接種済証**の交付

- (1) 予防接種を行った際は、施行規則に定める様式による
予防接種済証を交付すること。
- (2) 予防接種を行った際、乳幼児・小児については、(1)に代えて、
**母子健康手帳に予防接種の種類、接種年月日その他の証明すべき
事項を記載すること。**

(予防接種法施行規則にも同様の記載)

予約時に



受付



看護師

1. ワクチンの種類
2. 被接種者
－名前・年齢
3. 接種回数
－接種済みワクチン
4. 接種年齢・接種間隔
－同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期
7. 記録

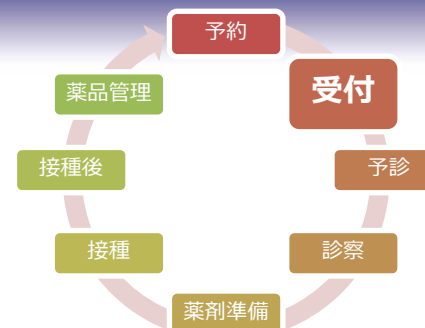


被接種者・保護者



医師

受付で



受付



看護師

1. ワクチンの種類
2. 被接種者
－ 名前・年齢・生年月日
3. 接種回数
－ 接種済みワクチン
4. 接種年齢・接種間隔
－ 同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期
7. 記録



被接種者・保護者



医師

予診時に



受付



看護師

1. ワクチンの種類

2. 被接種者



－名前・年齢・生年月日

接種は可能か

健康状態：体温・予診票項目
(既往、アレルギーなど)

3. 接種量・接種回数



－接種済みワクチン

4. 接種年齢・接種間隔



－同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期

6. 目的



被接種者・保護者



医師

予診票

[B型肝炎] 予防接種予診票 (乳幼児・小学生対象)

様式第二

住 所	診療前の体温	度	分
受ける人の氏名	男 女	生 年 月 日	平成 年 月 日生
保護者の氏名	(満 歳 カ月)		

質問事項	回答欄	医師記入欄
今日受ける予防接種について市町村から配られている説明書を読みましたか	はい いいえ	
あなたのお子さんの発育歴についておたずねします 出生体重 () g 分娩時に異常がありましたか 出生後に異常がありましたか 乳児健診で異常があるといわれたことがありますか	あった なかった あった なかった ある ない	
今日体に具合の悪いところがありますか 具体的な症状を書いてください ()	はい いいえ	
最近1カ月以内に病気にかかりましたか 病名 ()	はい いいえ	
1カ月以内に家族や遊び仲間、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか (病名)	はい いいえ	
生まれてから今までに家族など身のまわりに結核にかかった方がいましたか	はい いいえ	
1カ月以内に予防接種を受けましたか 予防接種の種類 ()	はい いいえ	
生まれてから今までに先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症その他の病気にかかり、医師の診察を受けていますか 病名 ()	はい いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいといわれましたか	はい いいえ	
ひきつけ (けいれん) をおこしたことがありますか () 歳頃	はい いいえ	
そのとき熱が出ましたか	はい いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい いいえ	
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか	ある ない	

近親者に予防接種を受けた 6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか	はい	いいえ	
--	----	-----	--

医師記入欄
以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (実施できる・見合わせた方がよい) と判断します。
保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明をしました。
医師署名又は記名押印

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的、重篤な副反応の可能性、予防接種健康被害救済制度などについて理解した上で、接種することに (同意します・同意しません) ※かつこの中のどちらかを○で囲んでください。
この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します。

保護者自署

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No.	※ (皮下接種) m l	実施場所 医 師 名 接種年月日 平成 年 月 日

(注) 有効期限が切れていないかを要確認
(注) ガンマグロブリンは、血液製剤の一種で、A型肝炎などの感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射されることがあり、この注射を3～6カ月以内に受けた方は、麻しんなどの予防接種の効果が出ないことがあります。
※ BCGの予防接種については、「規定量をBCG用針を用いて経皮接種」等と記載すること。

平成 年 月 日生
(満 2 歳 6 カ月) 0.25 mL

接種する年齢に応じて
接種量が異なるワクチンは
年齢と接種量をマーキング

6 カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか

はい

いいえ

問診項目で確認すべき
箇所にマーキング

ロタウイルスワクチン 2020年10月1日～定期接種

✓ 接種開始週齢・接種完了週齢 の上限の設定

『生後14週 6 日までに初回の接種を』

✓ 接種不適当者

予防接種法施行規則『予防接種の対象者から除かれる者』

- 腸重積症の既往のあることが明らかな者
- 先天性消化管障害を有する者（その治療が完了したものを除く。）
- 重症複合免疫不全症の所見が認められる者

小児の臓器移植および免疫不全状態における予防接種ガイドライン（追補版）

2020 年 10 月 14 日

小児の臓器移植および免疫不全状態における予防接種ガイドライン作成委員会

（監修 日本小児感染症学会）

協力学会（五十音順）

日本移植学会

日本小児栄養消化器肝臓学会

日本小児外科学会

日本小児血液・がん学会

日本小児腎臓病学会

日本小児リウマチ学会

日本免疫不全・自己炎症学会

小児の臓器移植および免疫不全状態における予防接種ガイドライン作成委員会、
監修 日本小児感染症学会

http://www.jspid.jp/pub/sguideline/zouki_tsuiho.pdf

免疫不全状態が懸念される状況におけるロタウイルスワクチン接種について

3) 生物学的製剤を受けている母体から出生した児への接種は原則控え、母体の原疾患を担当している医師等に相談のうえ個別に検討する。

インフリキシマブやリツキシマブなどの生物学的製剤は移行抗体と同様に経胎盤的に能動輸送される。児の血中から最長で生後 12 か月にわたって検出され、児の免疫を抑制する可能性がある(9)。実際にインフリキシマブの投与を受けた母体から出生した乳児における播種性 BCG 感染症の症例が報告されている(10)。したがって原則として、生物学的製剤を妊娠後期にうけた母体から出生した児については、生後 6 か月以内は生ワクチンの接種を避ける必要がある。ロタウイルスワクチンについては初回接種を出生 14 週 6 日後までに行わなければならない、実質的に接種不可能である。

ロタウイルス感染症予防接種 予診票項目

※保護者の方は太枠内を記入してください。

住所	〒	接種年月日	令和 年 月 日	
		診察前の体温	度 分	
		電話番号	() -	
受ける人の氏名	(フリガナ)	男 ・ 女	生年月日	令和 年 月 日
保護者氏名				(出生 週 日後) 「出生○週●日後」とは出生日の翌日を1日として算出した日をあらわします。

1回目の場合、本日が出生14週6日後を
過ぎていないことを確認しましたか？

医療機関記入欄
(☑を)

質問事項	回答欄			医師記入欄
今回の接種は何回目ですか。	1 回目	2 回目	3 回目	
これまでの接種年月日を記載してください。(今回の接種が2回目以降の場合のみ)	1 回目	年 月 日		
* 前回のロタウイルスワクチン接種から27日以上の間隔が空いていることを確認	2 回目	年 月 日		

腸重積症について説明を受け、理解しましたか。

これまでに腸重積症になったことがありますか。または、治療を完了していない先天性消化管障害がありますか。

* この場合、ロタウイルスワクチンの接種は実施できません。

これまでに免疫不全と診断されていますか。または、肺炎や中耳炎などの感染症や下痢を繰り返したり、体重の増えが悪かったりしたことがありますか。*ロタウイルスワクチンの接種が実施できないことがあります。

その他、これまでに先天性異常、胃腸障害、心臓・腎臓・肝臓・血液・脳神経の病気、その他の病気にかかり、医師の診察を受けていますか。 病名 ()

その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種は受けてよいと言われましたか。

母親が妊娠中に免疫を抑制する薬の投与を受けましたか。

薬剤名 ()

近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか？

ワクチンの種類

被接種者

の『見える化』で確認

“一目で”



接種内容一覧メモ

に情報を集約

名前 ○○ ○○○様 年齢 1 歳 0 か月

予防接種日 [1 / 24]

接種ワクチン (MR ① みずぼうそう ①)

＜ワクチンの種類に関する間違い実例＞

- ・ Hib、PCV、DPT-IPV、ロタウイルスワクチンの同時接種に本来接種予定ではない **B型肝炎ワクチン3回目** を接種した

ワクチン	種類	乳児期									
		生直後	6週	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9-11か月
インフルエンザ菌b型（ヒブ）	不活化			①	②	③					
肺炎球菌（PCV13）	不活化			①	②	③					
B型肝炎	ユニバーサル			①	②					③	
	母子感染予防	①	②					③			
ロタウイルス	1価			①	②			(注4)			
	5価			①	②	③				(注5)	
4種混合（DPT-IPV）	不活化				①	②				③	
3種混合（DPT）	不活化				①	②				③	
2種混合（DT）	不活化										
ポリオ（IPV）	不活化				①	②				③	

生後2か月のDPT-IPV接種

生後4か月のB型肝炎接種

の間違いにご注意！

日本小児科学会が推奨する
予防接種スケジュール
2021年3月24日版

日本小児科学会

＜接種間隔・回数に関する間違い事例＞

- ・ **Hib追加は3回目から7か月以上の間隔をあけるところ、約5か月で接種した**

類似：DPT-IPV追加は3回目から6か月以上間隔をあける

- ・ インフルエンザワクチン接種後2～4週間の間隔で2回目を受けるところ **2日の間隔で接種した**
- ・ B型肝炎ワクチンの**4回目**を接種した

被接種者

今日の接種は可能？

『安全に接種ができるか』



予防接種不適當者、予防接種要注意者を把握する

- ✓ 発熱、重篤な急性疾患がないか
- ✓ 妊娠、免疫不全など生ワクチンを接種してはいけない状態ではないか
- ✓ アレルギー症状
- ✓ 基礎疾患、その他

被接種者

“新型コロナウイルス”

ワクチン別の対象年齢・接種不適当者の違い

接種対象年齢

(2021年8月10日現在)

- ✓ ファイザー社 『コミナティ』 **12 歳以上**
- ✓ 武田/モデルナ社 『COVID-19ワクチンモデルナ筋注』 **12 歳以上**
- ✓ アストラゼネカ社ワクチン 『バキスゼブリア筋注』 原則 **40 歳以上※**

※ 添付文書上 18歳以上だが、臨時接種において「必要がある場合を除き、18歳以上40歳未満の者への接種には使用しないこと」とされている

予防接種不適当者

アストラゼネカ社ワクチン 『バキスゼブリア筋注』 のみ

- ✓ SARS-CoV-2ワクチンの接種後に血小板減少症を伴う静脈 もしくは動脈の血栓症を発現したことがある者
- ✓ 毛細血管漏出症候群の既往歴のある者



被接種者 にかかわる「ヒヤット」

兄弟で同時受診時

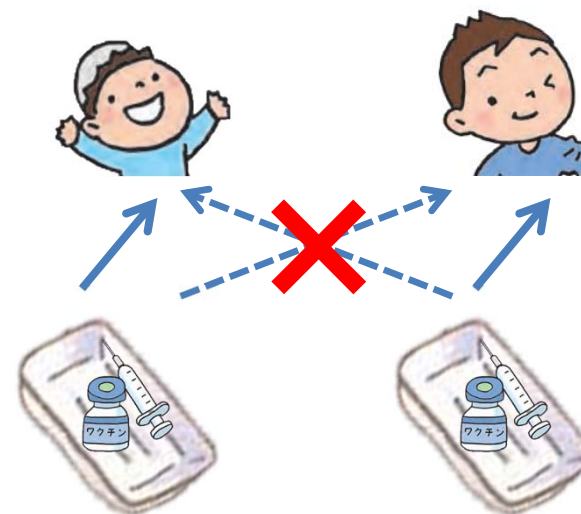
5歳 兄 MRワクチン

1歳 弟 水痘ワクチン

⇒ それぞれ1種類ずつ接種の予定・・・



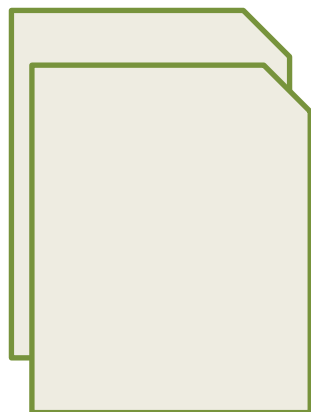
- ✓ 呼び込み時の入れ替わり
- ✓ 接種ワクチンの入れ替わり
- ✓ 予診票の入れ替わり
 - － 接種の可否にも関与
 - － 兄弟間での記入間違い



兄弟受診 を「見える化」

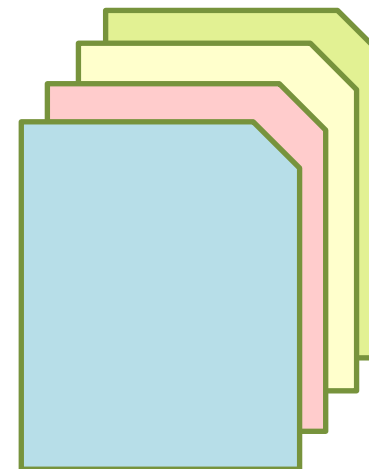
予診票ファイル

- － 各人の予診票が混ざらないよう、
識別しやすい個別ファイルに分けて入れて移動
- － 兄弟受診であることの意識づけ



単独受診時
透明ファイル

兄弟受診時
色つきファイル



＜被接種者に関する間違い事例＞

- ・ **弟**に接種すべき〇〇ワクチンを、
□□ワクチンを接種予定であった**兄**に誤って接種した
- ・ 5歳児（幼稚園の**年中組**）に第2期のMRワクチンを接種した 【MR第2期：就学前の1年間】

✓ 接種年齢が「**年度**」で規定されている定期接種ワクチン

— **MRワクチン** 第2期 『5歳以上7歳未満で**小学校入学前の1年間**』

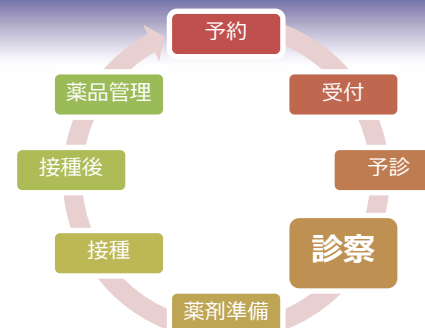
— **HPVワクチン** 『12歳になる年度初日から16歳になる年度末日まで』

（**小学6年～高校1年相当**）

— **高齢者肺炎球菌ワクチン**（特例 令和2年4月1日から令和6年3月31日までの間）

『65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳又は100歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にある者とする。』

診察時に



受付

1. ワクチンの種類

2. 被接種者

- － 名前・年齢・接種は可能か
健康状態：体温・予診票項目
(既往、アレルギーなど)

3. 接種量・接種回数

- － 接種済みワクチン

4. 接種年齢・接種間隔

- － 同じ種類のワクチンの前回接種時期
直近の接種ワクチンの 種類・時期

6. 目的



看護師



被接種者・保護者



医師

予診者と診察者が異なるときは

予診時の内容を確認

⇒ ダブルチェックのチャンス

年齢、ワクチン種類、接種量、接種不適當者の確認はとくに注意

確認の相互促進

ルール作り（ルール化）と物品のひと工夫（見える化）

例）名前と年齢は必ず声に出して確認

⇒ 連携・確認に

母子健康手帳
接種内容一覧メモ
予診票

が役立つ

ワクチンの種類

被接種者

の見える化で度々確認

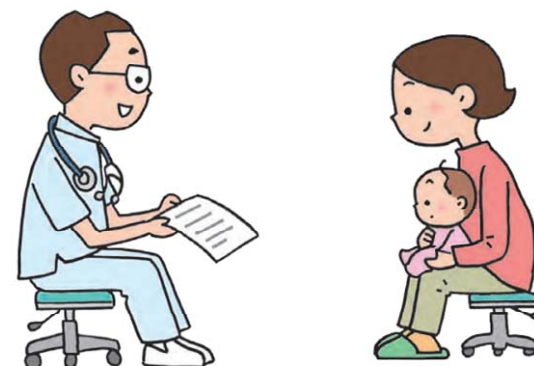
声にも出して

接種内容一覧メモ

名前 ○○ ○○○様 年齢 1 歳 0 か月

予防接種日 [1 / 24]

接種ワクチン (MR① みずぼうそう①)



予診票

[B型肝炎] 予防接種予診票 (乳幼児・小学生対象)

様式第二

住所	診療前の体温	度	分
受ける人の氏名	男 女	生 年 月 日	平成 年 月 日生
保護者の氏名	(満 歳 カ月)		

質問事項	回答欄	医師記入欄
今日受ける予防接種について市町村から配られている説明書を読みましたか	はい いいえ	
あなたのお子さんの発育歴についておたずねします 出生体重 () g 分娩時に異常がありましたか 出生後に異常がありましたか 乳児健診で異常があるといわれたことがありますか	あった なかった あった なかった ある ない	
今日体に具合の悪いところがありますか 具体的な症状を書いてください ()	はい いいえ	
最近1カ月以内に病気にかかりましたか 病名 ()	はい いいえ	
1カ月以内に家族や遊び仲間に麻疹、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか (病名)	はい いいえ	
生まれてから今までに家族など身のまわりに結核にかかった方がいましたか	はい いいえ	
1カ月以内に予防接種を受けましたか 予防接種の種類 ()	はい いいえ	
生まれてから今までに先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症その他の病気にかかり、医師の診察を受けていますか 病名 ()	はい いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいといわれましたか	はい いいえ	
ひきつけ (けいれん) をおこしたことがありますか () 歳頃	はい いいえ	
そのとき熱が出ましたか	はい いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい いいえ	
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか	ある ない	

平成 年 月 日生
(満 2 歳 6 カ月) 0.25 mL

予診時のマーキング箇所や
記載項目の再確認

近親者に予防接種を受けた 6カ月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか	はい	いいえ	
--	----	-----	--

医師記入欄
以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (実施できる・見合わせた方がよい) と判断します。
保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明をしました。
医師署名又は記名押印

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的、重篤な副反応の可能性、予防接種健康被害救済制度などについて理解した上で、接種することに (同意します・同意しません) ※かつこの中のどちらかを○で囲んでください。
この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します。

保護者自署

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No.	※ (皮下接種) m l	実施場所 医 師 名 接種年月日 平 成 年 月 日

(注) 有効期限が切れていないかを確認
(注) ガンマグロブリンは、血液製剤の一種で、A型肝炎などの感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射されることがあり、この注射を3～6カ月以内に受けた方は、麻疹などの予防接種の効果が出ないことがあります。
※BCGの予防接種については、「規定量をBCG用針を用いて経皮接種」等と記載すること。



準備時に

製剤について

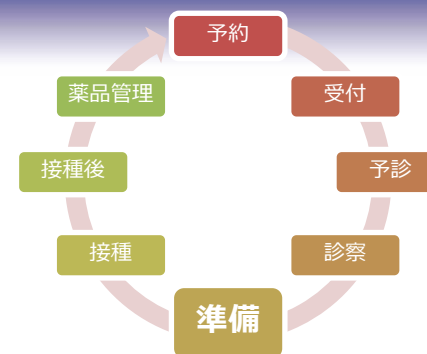
ワクチン名
接種量
ワクチン有効期限
ロット番号
希釈方法

器具について

器具が未使用であること
針の種類・長さ・接続

手技について

エア抜き



準備時

“新型コロナウイルスワクチン”

各製造販売業者のワクチン別 希釈方法・接種量 の違い

希釈方法と接種量

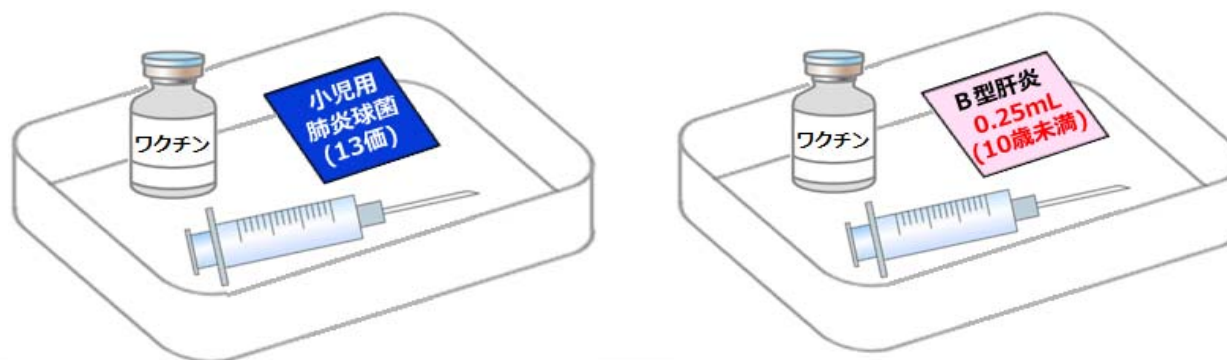
- ✓ ファイザー社（1バイアル 6人分）：1バイアル 0.3 mL
生食1.8 mLで希釈 0.3 mL接種
- ✓ 武田/モデルナ社（1バイアル 10人分）：1バイアル 5 mL
希釈しない 0.5 mL接種
- ✓ アストラゼネカ社ワクチン（1バイアル 10人分）：1バイアル 5 mL
希釈しない 0.5 mL接種

各ワクチンで保管条件（温度，期間），接種間隔も異なることから注意が必要

ワクチンの種類を「見える化」

DPT-IPV (4混)	DPT (3混)	不活化 ポリオ	DT 2 期 0.1mL	Hib	小児用 肺炎球菌 (13価)	成人用 肺炎球菌 (23価)
MR (麻疹・風疹)	BCG 経皮	水痘	HPV 2 筋注	HPV 4 筋注	日本脳炎 0.25mL (3歳未満)	日本脳炎 0.5mL (3歳以上)
ロタ 1 1.5mL 経口	ロタ 5 2.0mL 経口	おたふく	B型肝炎 0.25mL (10歳未満)	B型肝炎 0.5mL (10歳以上)	インフル 0.25mL (3歳未満)	インフル 0.5mL (3歳以上)

1 ワクチンごとにトレーに入れて使用



接種量が異なるワクチン の「見える化」

日本脳炎
0.25mL
(3歳未満)

or

日本脳炎
0.5mL
(3歳以上)

B型肝炎
0.25mL
(10歳未満)

or

B型肝炎
0.5mL
(10歳以上)

DT 2 期
0.1mL

“接種量を要注意”のワクチンのみ、
ワクチンカードに量も書いてあれば気づくチャンスに

接種量等が異なるワクチン の「見える化」

例えばこんなメモを見える場所に

【DT2 期】 1 回に0.1mL を皮下接種

【日本脳炎1 期】 3 歳未満は1 回に0.25mL (3 歳以上は1 回に0.5mL) を皮下接種

【インフルエンザ】 3 歳未満は1 回に0.25mL (3 歳以上は1 回に0.5mL) を皮下接種

【BCG】 管針を用いて2 か所に圧刺 (経皮接種)

【HPV [2 価・4 価]】 1 回に0.5mL を筋肉内接種

【ロタウイルス】[1 価] 1 回に1.5mL を経口接種 / [5 価] 1 回に2.0mL を経口接種

【B 型肝炎】10 歳未満は1 回に0.25mL を皮下接種 (10 歳以上は1 回に0.5mL を皮下
または筋肉内接種)

参考：予防接種における間違いを防ぐために

準備時のリスク に対する「ルール化」

✓ 溶解作業は直前に

- － ワクチンの安定性保持にも関わる
特に生ワクチンは紫外線・温度に弱い！

生ワクチンの添付文書には【取扱い上の注意】として
本剤のウイルスは日光に弱く、**速やかに不活化される**ので、
溶解の前後にかかわらず光が当たらないよう注意する こと。

✓ 作業は中断しない・その場を離れない・話しかけない

- － 溶解忘れ・空シリンジ接種の防止
- － ワクチンの入れ代わり防止

✓ 接種量が特異なワクチンは互いに声かけ

✓ 原則、1つのトレーには1セットのワクチン・接種器具

＜準備時に関する間違い事例＞

- ・ ヒブワクチンを接種するところ、**溶解液のみ**を接種した
- ・ DT 0.1 mLが入った注射器に日本脳炎ワクチン 0.7 mLを吸わせて溶解し、0.5 mLに合わせて接種した
- ・ 妹に接種するために準備した**B型肝炎ワクチン**0.25 mL 入りのシリンジを空であると勘違いし、
そこへ**日本脳炎ワクチン**の溶解液を0.7 mLまで
吸い足し、0.5 mLを姉に接種した
- ・ 有効期限が過ぎた〇〇ワクチンを接種した



注意

ワクチンの再希釈 (ファイザー社ワクチンの場合)

使用済みのバイアルを、再度希釈して使用する誤りが起きています。

再希釈したワクチンを誰に接種したかが分からず、多くの人に影響が及びます。

※2021年6月16日までに、接種量の間違い(再希釈、希釈忘れ)が13件報告されています。

以下の対策が有効です！

- ① 1トレイに、1バイアル分の必要物品を準備し、**常にトレイ単位で準備、接種を行う**



- ② バイアルのキャップを外し、希釈・充填し、トレイに6組セットするまでの、**一連の作業を中断しない**



- ③ 充填された薬液の外観を確認する
- ・生理食塩水：無色透明
 - ・ワクチン：軽度白濁

薬液充填の確認



上記は一例です。自会場に合った取り組みを検討してください。

厚生労働省健康局健康課予防接種室

ワクチンの再希釈 (ファイザー社製ワクチンの場合)

間違いが起きたのはどんなとき？

- ① 必要数のワクチン、注射器等を作業台の上に準備し、2名(担当者A・B)で希釈・充填を開始した。
- ② 作成していた作業手順書では、希釈・充填後のバイアルは作業台の上にある廃棄容器に捨てることとしていたが、担当者Aは、**院内PHSのコールに対応するために、希釈・充填後のバイアルを捨てず、作業台の上に置いたまま、作業台を離れた。**
- ③ 担当者Bは、**作業台上にあったバイアルを希釈前のものと思い込み、希釈・充填後のバイアルに生理食塩水を注入し、注射器に充填した。**
- ④ 接種担当者Cは、正しく希釈されたワクチンがセットされていると思い込み、セットされたものの外観を確認せずに接種した。
- ⑤ 希釈・充填担当者は、予定数のバイアルの希釈・充填が終了した時に、未使用のバイアルが残っていたため、再希釈した可能性に気がついた。

間違いが起きたのはなぜ？

- キャップを外した後の**希釈前のバイアルと、希釈・充填後のバイアルは、見た目ではほぼ区別できない**
- バイアルのキャップを外し、希釈・充填してトレイに載せるまでの**一連の作業が、外的要因(電話や別の作業)により中断された**
- 希釈・充填後のバイアルは廃棄することになっていたことから、作業台にあるバイアルは、バイアルのキャップが外されたものであっても、希釈・充填後のものであるとは思わなかった
- 希釈・充填担当も接種担当も、**注射器に充填された液体の外観を確認していない**
(生食：無色透明、ワクチン：軽度白濁のため、目視で確認可能)

間違いはどの会場でも起こりうるからこそ、
間違いが起きる要因を減らす対策が重要です。
取り組むのは、今です。

※本資料は、事案当事者へのヒアリング等によって作成時点で確認できた範囲の情報をもとに、厚生労働省において取りまとめたものです。記載内容については、今後の状況を踏まえ、適宜見直しを行う可能性がある旨ご注意ください。
※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000815703.pdf>

基本的には「作業は中断しない・その場を離れない」だけど・・・

どうしてもな時 にもひと工夫を



「準備中」であることがわかるようカードで注意書き

※基本的には調整はひとりが完遂、確認は複数で することで間違いを防ぐ

接種時に



受付



看護師

1. ワクチンの種類
・有効期限・外観
2. 被接種者
3. 接種量・接種回数
－種類ごとの接種量
4. 接種年齢・接種間隔
－過去接種ワクチンの種類・時期
5. 接種方法

**必ず、使用済みシリンジは
速やかに感染性廃棄物入れへ**



被接種者・保護者



医師

「まさか・・・！」も起こりうる

【血液感染を起こしうる間違い事例の概要】

(2013～2016年度 予防接種間違い報告より)

使用済み接種器具を別の被接種者に使用

- ① 複数名分のワクチン・接種器具を同じトレーに用意
- ② **使用済み接種器具を廃棄容器に入れず、トレーに戻した**
- ③ 集団接種で対象人数分の接種器具を用意したが、終了後に未使用の接種器具が1本余った
- ④ 集団接種終了後、使用済み接種器具の数が対象人数より少なかった

被接種者以外に触れた注射針を使用

- ① 接種医師・看護師の指に注射針が刺さった
- ② 被接種者を抱っこしていた保護者の指に注射針が刺さった



注意

使用済み注射器の再使用

使用済みの注射器を再使用してしまう誤りが起きています。

不要な侵襲を与えるだけでなく、血液感染を起こしうる重大な医療事故です。

※2021年6月16日までに、使用済み注射器の再使用による血液感染を起こしうる間違いが23件報告されています。

以下の対策が有効です！

① リキャップを絶対に行わない



② 針捨て容器は、接種者の手が届く場所に置く



使用済み注射器は、自らすぐに廃棄する

③ 接種者は、接種直前に注射器に薬液が充填されているか必ず目視で確認する



上記は一例です。自会場に合った取り組みを検討してください。

厚生労働省健康局健康課予防接種室

使用済み注射器の再使用

間違いが起きたのはどんなとき？

- ① 1つのテーブルに、薬液が充填された**未使用の注射器を入れるトレイと、使用済みの注射器を入れるトレイを近接して配置**していた。
- ② 接種実施者は、廃棄担当者が針刺ししないよう、**使用済みの注射器をリキャップ**し、誤って薬液が充填された未使用の注射器の入ったトレイに置いてしまった。
- ③ 接種実施者は、誤って使用済みの注射器を手にとり、**注射器内に薬液が充填されていないことを確認せず**に、空の使用済み注射器を別の被接種者に穿刺してしまった。

※①～③の背景に、接種希望者が多く混雑してきたため、注射器への薬液充填が追いつかなくなり、元々薬液充填者が担っていた患者呼び込みを、接種実施者が担うようになったという状況もあった。

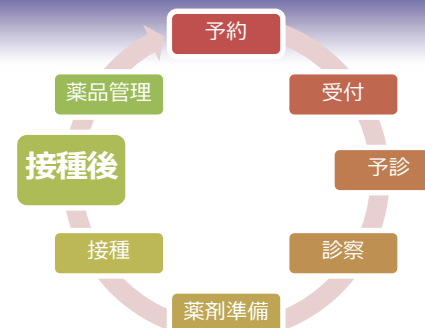
間違いが起きたのはなぜ？

- 使用後の注射器が1本ずつ針捨て容器に廃棄されず、接種実施者の手の届くところにある
- 使用済み注射器を、針捨て容器ではなくトレイに置いている
- 使用済みの注射器をリキャップしたため、見た目では使用済みの注射器であることがわかりづらい
- 接種するときに、薬液が正しい量充填されていることを確認していない
 - ・「キャップの付いている注射器は未使用」という思い込みがある
- その他の要因
 - ・ 外的要因により一連の作業が中断してしまう
 - ・ 接種希望者が多く混雑してきた等により、焦りがある

間違いはどの会場でも起こりうるからこそ、
間違いが起きる要因を減らす対策が重要です。
取り組むのは、今です。

※本資料は、事案当事者へのヒアリング等によって作成時点で確認できた範囲の情報をもとに、厚生労働省において取りまとめたものです。記載内容については、今後の状況を踏まえ、適宜見直しを行う可能性がある旨ご留意ください。
※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではありません。

接種後に



受付

4. 接種年齢・接種間隔

－次回接種ワクチンの種類・時期

7. 記録

－母子健康手帳に必要事項の記載

－予診票の回収を確認

+ 接種終了後の注意事項の説明

接種後15～30分程度待機してもらい
経過観察



被接種者・保護者



看護師

接種スケジュールに関する間違い

接種間隔の間違い

同じ種類のワクチンの間隔

異なる種類のワクチンの間隔

接種回数間違い

同一ワクチンの過剰接種

開始時期による回数の違い



医師

＜接種記録があれば防げたかもしれない間違い事例＞

- ・ **A医療機関**で日本脳炎第1期追加 を実施したが、
母子健康手帳への記載がなく、
B医療機関にて第1期追加 を接種した
- ・ 既に1回PPSV23を接種済みの人に2回目のPPSV23を
定期接種として接種した

接種スケジュールのひと工夫

✓ 保護者との共有

接種スケジュール相談

次回接種時期の「見える化」

－接種内容一覧メモ

－母子健康手帳への付箋・メモ

✓ スケジュールの単純化

－同時接種はひとつの方法

接種内容一覧メモ（の続き）

名前 ○○ ○○ 様 年齢 1歳 0か月

予防接種日 [1 / 24]

接種ワクチン（MR ① みずぼうそう①）

（○）生ワクチンなので次の接種まで
4週間以上あけてください。

（ ）不活化ワクチンなので次の接種まで
1週間以上あけてください。

（ ）生ワクチンと不活化ワクチンなので
次の接種まで4週間以上あけてください。

次の接種予定日 [2 / 21]

次の接種ワクチン（おたふくかぜ ①）

<その他のお知らせ>

みずぼうそうワクチンの2回目は1回目の
接種から6～12か月後に接種しましょう。

次回接種時期の「見える化」

予防接種の記録（４）

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー／ロット Manufacturer/ Lot. No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks
ジフテリア・破傷風 Diphtheria・Tetanus	第2期			
日本脳炎 Japanese Encephalitis	第2期			
ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー／ロット Manufacturer/ Lot. No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks
B型肝炎 Hepatitis B	28.01.06		〇〇小児科	
	28.02.27		〇〇小児科	
ロタウイルス Rotavirus	28.03.27			
	28.04.27			

B型肝炎3回目は
5/26～6/23
の接種をおすすめします

母子健康手帳への付箋や書き込みで
次回接種時期を見える化

予防接種の記録（１）
Immunization Record

感染症から子ども（自分の子どもはもちろん、周りの子どもたちも）を守るために、予防接種は非常に効果の高い手段の一つです。子どもたちの健康を守るために予防接種の効果と副反応をよく理解し、子どもに予防接種を受けさせましょう。

ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー／ロット Manufacturer/ Lot. No.	接種者署名 Physician	備考 Remarks
インフルエンザ型 (Hib) Haemophilus type b	1回	28.01.06	〇〇〇〇〇	〇〇小児科
	2回	28.02.27	〇〇〇〇〇	〇〇小児科
	3回	28.04.02	〇〇〇〇〇	〇〇小児科
	追加			
小児肺炎球菌 Streptococcus pneumoniae	1回	28.01.06	〇〇〇〇〇	〇〇小児科
	2回	28.02.27	〇〇〇〇〇	〇〇小児科
	3回	28.04.02	〇〇〇〇〇	〇〇小児科
	追加			

ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ Diphtheria・Pertussis・Tetanus・Polio						
時 期		ワクチンの種類 Vaccine	接種年月日 Y/M/D (年齢)	メーカー／ロット Manufacturer/ Lot.No.	接種者署名 Physician	備 考 Remarks
第1期初回	1回		28.02.27	〇〇〇〇〇	〇〇小児科	右大腿 0.5mL
	2回		28.04.02	〇〇〇〇〇	〇〇小児科	左大腿 0.5mL
	3回		28.05.20	〇〇〇〇〇	〇〇小児科	右大腿 0.5mL
第1期追加			1歳過ぎ 11/20以降に			

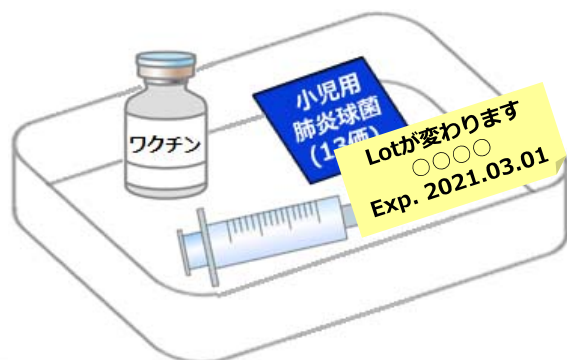
薬品管理



有効期限・ロット番号の「見える化・ルール化」

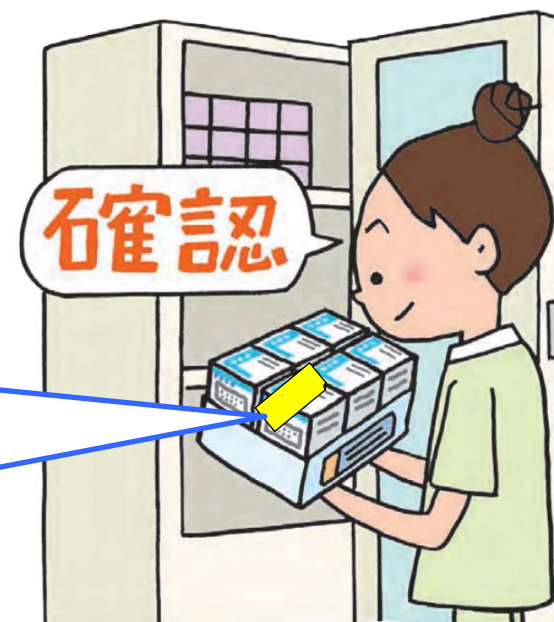
✓ ワクチンの有効期限や保管状態を確認

- － 温度設定の確認（各ワクチンの添付文書で確認）
- － 保管庫の温度記録
- － 有効期限が間近のワクチンのリストアップ
- － 有効期限が近いロットを手前に置く
- － 有効期限・ロット番号が切り替わる目印



付箋で目印

Lotが変わります
Lot. ○○○○
Exp. 2021.03.01



薬品管理

有効期限切れロットのワクチンを残さない ための

「見える化・ルール化」

要因を除いて未然に防ぐ

1. 新たに納品されたワクチンの
「ワクチン名」・「ロット番号」・「有効期限」を
マグネットに記載して、保管庫のドアに
日付順に並べて貼っておく
- ② 毎日、一番上の日付が『今日でない』ことを確認
- ③ もし、その日付が『**今日**』であったら、
該当ロットのワクチンを廃棄

日本脳炎ワクチン

Lot.○○○○

Exp. 2020.12.21

水痘ワクチン

Lot.○○○○

Exp. 2021.03.30

ヒブワクチン

Lot.○○○○

Exp. 2021.04.15

ヒブワクチン

Lot.□□□□

Exp. 2021.09.01

⋮

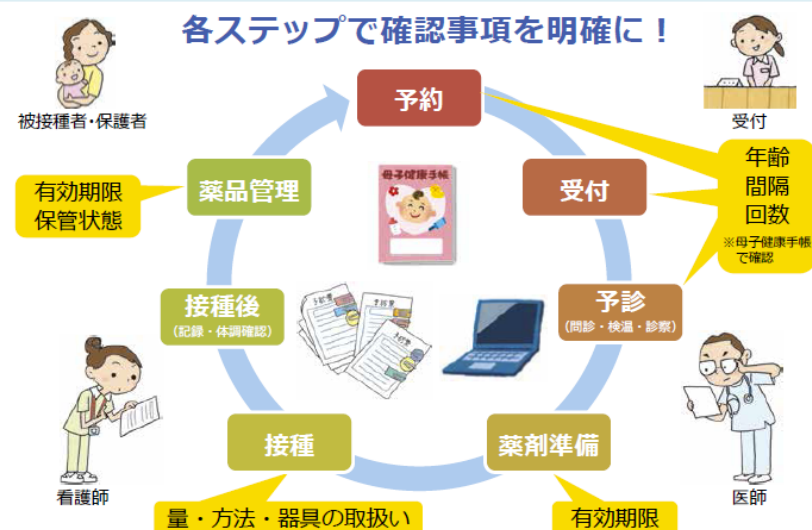
「見える化」のまとめ

- ✓ **予診票ファイルのカラーリング**
 - －兄弟受診時の被接種者の明確化
- ✓ **予診票チェックポイントのマーキング**
 - －接種不適合者に該当しないか、年齢等の確認
- ✓ **スケジューリング**
 - －スケジュールの単純化、次回接種時の間違いの予防
- ✓ **接種内容一覧メモ・次回接種時期の付箋**
 - －接種当日の確認作業の簡易化
 - －スケジュールの見える化・共有
- ✓ **ワクチンの種類・量を大きく見せるカード**
 - －確認作業の簡易化
- ✓ **原則、1トレー 1 ワクチン**
- ✓ **廃棄物入れをすぐそばに**
 - －使用済みシリンジを接種後直ちに廃棄
- ✓ **保管庫の扉にワクチン名・ロット番号を有効期限順に貼っておく**
 - －有効期限を見える化・有効期限切れのワクチンを残さない

被接種者とワクチンの種類の確認は 接種までのすべてのステップで



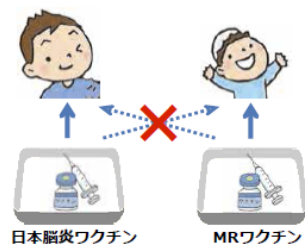
予防接種の間違いを防ぐためのポイント



※各ステップでの確認のポイントは「予防接種における間違いを防ぐために(2019年改訂版)」をご覧ください

こんな時はとくに注意！

例えば・・・
兄(3歳、日本脳炎ワクチン)と
弟(1歳、MRワクチン)が
同時に予防接種を受けにきた



兄弟・姉妹の同時受診時は
接種するワクチンを
間違えないように！



ワクチンを準備する時
ワクチンの種類や
有効期限を確認！

ワクチンの取り扱いに注意！



ワクチンは一度に
準備せず接種直前に！

接種量・接種方法に注意！

多くのワクチンは「1回に0.5mLを皮下接種」ですが
以下は接種量や接種方法を間違いやすいワクチンです

DT2期	: 1回に 0.1mL を皮下接種
B型肝炎	: 10歳未満は1回に 0.25mL を皮下接種
日本脳炎1期	: 3歳未満は1回に 0.25mL を皮下接種
インフルエンザ	: 3歳未満は1回に 0.25mL を皮下接種
BCG	: 管針を用いて 2箇所 に圧刺(経皮接種)

接種器具の取り扱いに注意！



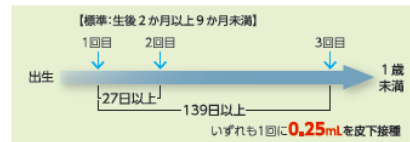
接種後は直ちに
専用の廃棄容器に！

小児の予防接種スケジュール [通常 0 歳から接種を始めるワクチン]

(2020年3月現在)

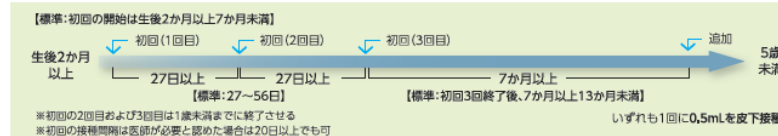
[定期接種]

B型肝炎(水平感染予防)



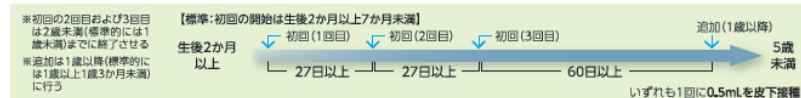
インフルエンザ菌b型(ヒブ, Hib)

※初回の開始が生後7か月以上の場合は、接種回数が増えるので定期接種実施要領等を確認

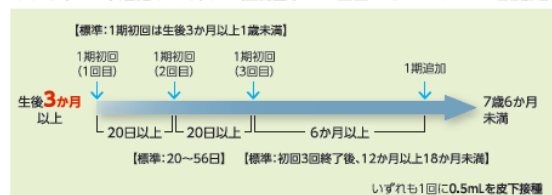


肺炎球菌(PCV13:13価結合型)

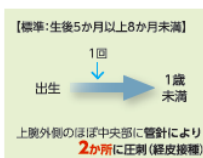
※初回の開始が生後7か月以上の場合は、接種回数が増えるので定期接種実施要領等を確認



四種混合(DPT-IPV:百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ混合)、ポリオ(IPV:不活化ポリオ)、三種混合(DPT:百日せき・ジフテリア・破傷風)



BCG



[2020年10月から定期接種: 対象は2020年8月1日以降に生まれた者]

ロタウイルス

1価ワクチン



5価ワクチン



小児の予防接種スケジュール [通常 1 歳以降に接種するワクチン]

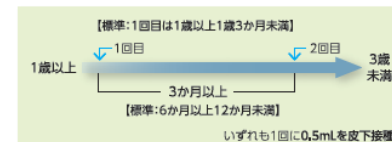
(2020年3月現在)

[定期接種]

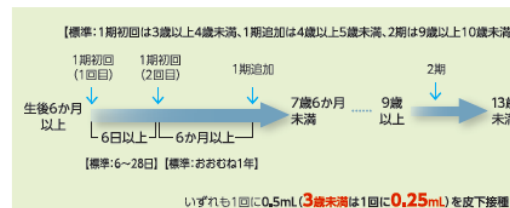
MR(麻しん・風しん混合)、麻しん、風しん



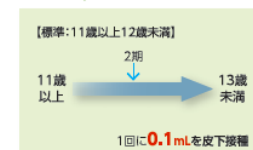
水痘



日本脳炎



二種混合(DT:ジフテリア・破傷風混合)

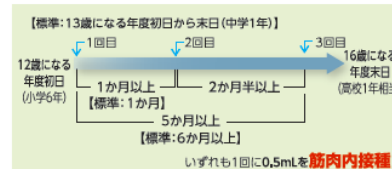


※1995年4月2日～2007年4月1日生まれの者は、接種回数(4回)の不足分を20歳未満まで定期接種として実施可能です。
また、2007年4月2日～2009年10月1日生まれの者は、第1期の接種回数(2回)の不足分を第1期(生後6か月以上7歳6か月未満)だけでなく、第2期(9歳以上13歳未満)の期間にも定期接種として実施可能です。

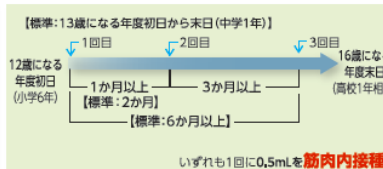


ヒトパピローマウイルス(HPV)

2価ワクチン

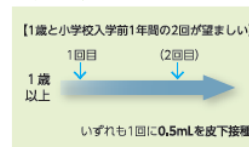


4価ワクチン

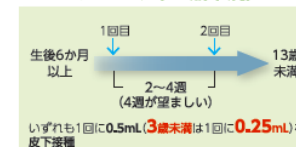


[任意接種(一部)]

おたふくかぜ



インフルエンザ(13歳未満)



謝 辞

崎山小児科 崎山 弘 先生

佐藤 弘 先生

予防接種における 間違いを防ぐために

接種前の確認がとても大切です

(2021年3月改訂版)



2021年改訂版
を公開中です



ご清聴
ありがとうございました

【国立感染症研究所HP】

https://www.niid.go.jp/niid/images/vaccine/machigai-boushi-2021_03.pdf